

# 思春期 サポートプレイス通信



残暑の頃となりましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

6月15日(土)に開催した第1回思春期サポートプレイス講演会ですが、65名の方に御参加いただきました。御参加くださったみなさま、ありがとうございました。今号は、第1回思春期サポートプレイス講演会の御報告を中心にお送りします。合わせて次回の日程もお知らせしますので、ぜひ御参加ください。

令和6年度 第1回 思春期サポートプレイス講演会

## 学びから背を向けているように見える子供にどう接するか

講師 東京学芸大学 教授 福井 里江 氏

6月15日(土)に  
開催しました

【講義の内容 (一部抜粋)】

**不登校という状態の理解** (文部科学省の調査や児童生徒からの調査をもとに実態を説明)

子供たちが学校に合っていないという視点だけでなく、学校が子供たちに合っていないという視点から考えることも重要。

### 回復への道のり

不登校状態とは、心のエネルギー・対話・居場所が失われた状態である。

まずは**心のエネルギーをしっかりと回復することが必要**。少し回復しても焦らず、ゆっくりと十分に回復していくこと。

- ・安心できる声や表情で関わる
- ・本人の現在地に合ったほどよいコミュニケーション

### よくある悩み こんな時はどうしたらいいのだろう…

#### ① 会話が…

返事がなくてもかまわないような言葉かけから始め、親自身の日常会話の話題から話してみる。

#### ② 歩み寄れない…

話題を差し出しても、取り入れるかどうかは相手次第。相手の考えを知ることが大事。

#### ③ 一歩踏み込んだ大事な話ができない…

関わり方の雰囲気が柔らかくなってきたら、なにか家でできる小さなことをお願いし、やってくれたら感謝の気持ちを伝えるなど、安心できるコミュニケーションを積み重ねていく。



福井 里江 氏

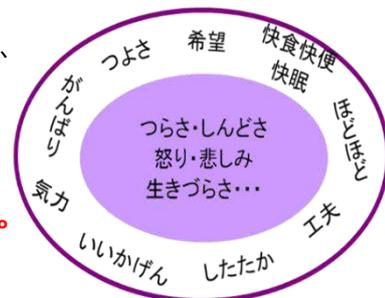
### まんじゅう理論

辛さや苦しさをあんこに見立て、あんこを安心して語れると、まんじゅうの大きさは変わらないが、重さが軽くなる。いいところを皮に見立て、皮を見つけて相手に伝え続けると、皮が厚くなる。

心のまんじゅう全体が大きくなると、あんこの占める割合が相対的に小さくなる。

**あんこ (辛さや苦しさ) に目を向け、共感することが大事。**

**小さなことでもよいので、皮 (いいところ) を見つけ、折にふれて言葉で伝えることが大切。**



### 家族が元気でいるために

**家族がほっとできる時間をもつこと、疲れないことが一番大切。それが子供の安心にもなる。** まんじゅう理論(伊藤 2009)

### ★★ 次回の思春期サポートプレイス講演会の御案内★★

#### テーマ「学ぶ意欲と、ネットゲームの関わり方」

講師：独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 臨床心理士 三原 聡子 氏

実施日：令和6年10月19日(土) (申込案内は1ヵ月前から開始します。) ホームページ⇒[ここをクリック](#)

場所：東京都立多摩図書館 ※お間違えなく